

豊中市
toyonaka

高校スポーツ発祥の地とよなか!

野球、アメリカンフットボール、ラグビー、サッカーなど、全国の高校生大会が開催された豊中グラウンドのあったまちです。

中核市(平成24年から)

大阪市に近い地の利と、起伏に富んだ丘陵地帯は、早くから絶好の住宅地として選ばれ、文教都市の名声が高まるにつれ、人口が急激に増え市街地も大きく広がりました。

抜群の広域アクセスを誇るまち

阪急電車や大阪モノレール、北大阪急行、阪急バスといった公共交通機関が充実しています。また、阪神高速11号池田線、中国縦貫自動車道、名神高速道路、国道176号や423号(新御堂筋)など道路網が市内を縦横に走っています。さらに、大阪国際空港から全国各地へ空路でつながるなど、市内や広域の交通利便性を支えています。

音楽あふれるまち

豊中市内には日本センチュリー交響楽団や大阪音楽大学など、他市にはない音楽環境があることから、「音楽あふれるまち とよなか」と銘打ち、子どもたちへのフルオーケストラコンサートや、市内の神社や教会でのアンサンブルコンサートなど、様々な音楽イベントを実施しています。

学校数 ● 小学校38校 ● 中学校16校
● 義務教育学校1校

<https://www.city.toyonaka.osaka.jp/>

池田市
ikeda

人・自然・文化の調和するまち池田

「事始めのまち」として、いにしへの「織姫伝説」にはじまり、阪急阪神東宝グループの創業者「小林一三」や、世界初のインスタントラーメンの開発者「安藤百福」ゆかりの地である池田市は、北部は緑豊かな植木のまち、中心部は閑静な住宅地、南部は高速道路や空港のある交通の要衝という様々な顔を持ったまちです。「大阪みどりの百選」にも選ばれている五月山公園は、春は桜、秋は紅葉の名所で、夜景も素晴らしく、猪名川の清流とともに私たちの心をいやします。公園内には、世界一♡のある動物園「五月山動物園」があり、ワビーやアルパカ、そして2022年に世界最高齢としてギネス記録に登録されたウオンバットの「ワイン」などが飼育されています。また、ウオンバットといけだの魅力をより多くの人に知ってもらうため、「ウオンバといけだ」プロジェクトを進め、PR活動を行っています。

ウオンバットって、日本ではあのパンダより飼育頭数が少ないらしい!

学校数 ● 小学校9校 ● 中学校4校
● 義務教育学校1校

<https://www.city.ikeda.osaka.jp/>

箕面市
minoh

地域の絆で守る地域の安全

「大阪で一番安全なまち」をめざし、全ての通学路や公園に防犯カメラを設置。その数は、約2,000台!設置前と比べて、子どもへの声かけなど不審者情報やひったくりなどが半減し、効果は抜群。また、防犯カメラ設置費用の補助もしているため、自治会も地域にカメラを設置し、市民協働で防犯力を高めています。

学校数 ● 小学校12校 ● 中学校6校
● 小中一貫校2校

<https://www.city.minoh.lg.jp/index.html>

豊能町
toyono

人とみどりが輝くまち とよの

大阪府の北部にあり、北摂連山に囲まれた自然豊かなまち、「豊能町」。棚田が一面に広がり、川のせせらぎ、風の音が聞こえる「いなか」の顔と、整備された住宅地が続き、自然と調和した「まち」の顔を併せ持った町です。自然や立地に恵まれた環境のほかに、歴史も特徴的。かつてこの地はキリスト教信仰が行われ、キリシタン大名として名高い福者・高山右近の生誕地です。また、「豊能御影石」がとれる「石の町」として、史跡や石仏・石塔などが各地に残されています。

下記のイメージビデオ「とよのデイズ」をご覧ください。
<https://www.town.toyono.osaka.jp/page/page002396.html>

里山の風景 棚田 国蝶 オオムラサキ

学校数 ● 小学校4校 ● 中学校2校
(うち小中一貫教育校1校)

<https://www.town.toyono.osaka.jp/>

能勢町
nose

人・地域・地球の健康を守り 縁をつなぐ 開かれたまち能勢

能勢町は、大阪府の北端に位置し、豊かな里山の自然と歴史に恵まれて生命を育み、独自の文化を持つまちとして発展してきました。里山の自然資源や人間関係などの資源を基軸として、人と人、里山と街をつなぎ、自立的で魅力あふれるまちづくりをめざしています。

とりわけ、SDGsの達成に向け「地域資源が循環する里山未来都市の実現」をめざし、ゼロカーボンタウンの実現や、里山資源の活用、健康長寿の取り組みなど持続可能なまちづくりの実現に取り組んでいます。

大げやき

棚田風景 人形浄瑠璃「能勢三番叟」

学校数 ● 義務教育学校1校

<https://www.town.nose.osaka.jp/>

ホームページ
home page

教員採用選考関係の情報をホームページで随時更新しています。

詳細はこちら

豊能地区 教員採用 検索

<講師登録のご案内>
豊能地区講師希望者登録も随時受け付けています。

<https://toyono-jinjikyoo.com/>



令和7年度(2025年度)
大阪府豊能地区公立学校

教員募集

出願期間 令和6年(2024年)4月1日(月)~4月30日(火)

選考職種 小学校教諭・中学校教諭・養護教諭

出願方法 インターネットによる電子申込
※詳しくは「令和7年度(2025年度)大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト受験案内」をご覧ください。

問合せ先 大阪府豊能地区教職員人事協議会事務局 採用グループ
〒561-8501 大阪府豊中市中塚塚3-1-1(豊中市役所内)
電話:06-6858-3341 ホームページ:<https://toyono-jinjikyoo.com/>

採用までの日程

願書受付	第1次選考	第2次選考	採用・辞令交付式
<p>■電子申込(インターネット)</p> <p>令和6年(2024年)4月1日(月)~4月30日(火)</p> <p>※開始日は10時から、終了日は17時まで受付。</p> <p>※詳しくは「令和7年度(2025年度)大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト受験案内」をご覧ください。</p>	<p>■筆答テスト 6月15日(土)</p> <p>■面接テスト 6月22日(土)~6月30日(日)</p> <p>※期間内のいずれか1日を指定します。</p>	<p>■筆答テスト 8月10日(土)</p> <p>■実技テスト 8月3日(土)、8月5日(月) 8月10日(土)、8月25日(日)</p> <p>※校種教科により異なります。</p> <p>■面接テスト 8月21日(水)~8月30日(金)</p> <p>※期間内のいずれか1日を指定します。</p>	
	1次結果発表 7月23日(火)予定	2次結果発表 9月27日(金)予定	

問合せ先 大阪府豊能地区教職員人事協議会 採用グループ TEL:06-6858-3341
〒561-8501 大阪府豊中市中塚塚3-1-1(豊中市役所内) URL <https://toyono-jinjikyoo.com/>

豊能地区 教員採用 検索

豊中市
toyonaka

豊かな夢を子どもたちに
ともに描く学びと創造のまち とよなか
～大きな夢を抱いて ほがらかに生きよう～

庄内地域に豊中市初の義務教育学校が開校

「つながる力」「まなぶ力」「つくる力」を基本として、やり抜くことで世界にはばたいていく子どもを育てます。令和5年(2023年)4月に庄内さくら学園が開校しました。また、令和8年(2026年)に(仮称)南校が開校予定です。



教職員の働き方改革を推進

教員業務支援員を市立学校全校に配置、学校運営支援員(元校長等)による巡回訪問および教職員からの相談対応、勤務時間外の留守番電話対応、携帯電話の配備、学校行事の精選、定時退勤日の設定、学校閉庁日の導入等の取り組みを行い働きやすい職場環境づくりに努めています。

「マチカネ先生塾」及び
教員サポートシステム

教員をめざす学生には「マチカネ先生塾」で、経験の浅い教員には、経験豊富な学校運営支援員(元校長等)が授業力のサポートを行っています。



ICTを活用した「子ども主体の学び」の推進

GIGAスクール構想を推進するため、児童・生徒用一人一台タブレット端末に加え、教員用タブレット端末の整備を進めるとともに、ICT支援員を配置しています。また、学識経験者を講師とした情報モラル、リテラシー、セキュリティ等の現状の課題に応じた研修や、各種導入ソフトを活用した授業づくり研修等を多数実施しています。

大学との連携～サウンドスクール事業～

大阪音楽大学との連携により「音楽が溢れる学校づくり」を進め、子どもたちが「生きた本物の音楽」に触れる教育を推進しています。

池田市
ikedai

子どもの豊かな育ち
日本一をめざすまち池田



～子どもにとって魅力のある学校園づくり～

特色ある研究活動

各学校園の多様な教育課題に対し研究委託を行い、全学校園において子どもの姿から学ぶ実践研究を進めています。子どもの学びの姿を中心に据え、多様性を重視した一人ひとりをいかに教育を進めています。

教育DX

全小・中・義務教育学校の各教室に電子黒板と一人一台タブレット端末を導入しています。子どもたちの思考の過程で生まれる「ひらめき」を大切に、瞬時に子どもたちの意見を共有することができるようになりました。教職員の授業や校務での活用方法の研究も日々行われています。



～学校の枠を越え、地域とつながる～

地域社会との連携

学校、家庭、地域が協働し、子どもたちがいきいき活動できる「教育コミュニティづくり」を推進しています。また、公設民営の塾「ふくまるはばたき塾」では、子どもたちの家庭学習や自習のサポートを行っています。



小中一貫教育の推進

中学校区を「〇〇学園」と呼称し、幼稚園などの就学前から義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進しています。校種を越えた異学年交流も盛んで、児童・生徒はもちろん、校種の違う教員同士もつながることができます。また、施設一体型の義務教育学校「ほそごう学園」では、1～9年生が学校生活を共にし、一体型ならではの教育を進めています。

教職員が働きやすい環境づくり

時間外勤務を減らすため、定時退勤日や学校閉庁日の設定等、さまざまな取り組みをしています。元気なこころと体で、子どもと向き合うために、今後も働き方改革を推進していきます。

ふくまる教志塾で人材の育成

池田の教員をめざす方に向けて、「ふくまる教志塾」を開塾し、学校現場で子どもたちと学ぶ「現場実習」と学識経験者や現役の教員から教育の今を学ぶ「ふくまる夢たまごセミナー」の二本柱で、教員としての資質・能力を育成しています。

箕面市
minoh

子どもたちの豊かな学力を育む、
最新の教育環境



情報教育の推進



ICTを活用した授業・保護者との連絡
箕面市では、全児童・生徒に配備された一人一台のタブレット端末を使い、一人ひとりの課題に応じたドリルに取り組むなどして個別最適化された学習を進めています。また、学習支援ソフト「tomoLinks」を活用し、オンライン上でのプリント配布や回収を行うことが可能です。デジタル連絡帳を活用することで、児童生徒端末のみならず保護者のスマートフォンにも反映され、正確かつ迅速に連絡事項を伝えることができ、教員と保護者の負担を軽減しています。

全ての小・中学校で
9年間一貫した教育を実施

箕面市では市内の全小・中学校で、小中一貫したカリキュラムが組まれており、子どもたちはのびのびと成長できます。中でも、「とどろみの森学園」と「彩都の丘学園」は9年間同じ敷地で学ぶ施設一体型の小中一貫校で、市内の小中一貫教育をリードしています。

「箕面の授業の基本」で
指導のスタイルを確立

箕面版・授業の手引きを活用することで、すべての先生が子ども主体の課題解決型授業を展開しています。

英語教育の推進

箕面市では、市内の全小・中学校の全学年で、英語の学習を毎日実施しています。さらに、各校でネイティブ(英語指導助手)とのチームティーチングを実施し、学校の授業だけでなく、高い英語力を身につけることができます。箕面から世界へ活躍できる子どもたちを育てています。



「ぴあ・カレッジ」で教員養成

箕面市の教員を志す学生および講師の方を対象に教員養成セミナーを実施しています。「ICT教育」「授業づくり」「生徒指導」「支援教育」「人権教育」など様々な教育内容について学び、子どもたちの豊かな人生を切り拓くために必要な教員としての資質・能力を育てています。

とよの
大阪府豊能地区とは

大阪府の北西に位置する、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の3市2町を豊能地区と呼んでいます。大阪国際空港やJR新大阪駅に近接する成熟した都市部と、季節ごとにさまざまな表情を見せる魅力的な自然環境を併せ持った地区です。

豊能地区は全国で唯一、市町共同で教員採用選考を実施しており、毎年各地からここ豊能地区で先生になることをめざす、多くの方に志願いただいております。



選考職種 小学校教諭・中学校教諭・養護教諭

出願期間 令和6年(2024年)4月1日(月)～4月30日(火)

出願先 インターネットによる出願: <https://toyono-jinjikyo.com/>

※詳しくは「令和7年度(2025年度) 大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト 受験案内」をご覧ください。

能勢町
nose

自分が好き 能勢が好き
仲間とともに 夢がいっぱい



義務教育学校
～発達段階に応じた柔軟な指導・支援～

「もっと地域とともに」「もっとあたらしい学びへ」「もっとチームに」をスローガンに令和4年4月、義務教育学校へ移行し、9年間の学び・生活を効果的につなげています。

学力向上サポート

ICTの活用推進、英語教育の充実(英語4技能テスト【5～9年】など)、能勢町学力テスト、能勢分校との連携など、様々な機会を設け、確かな学力の定着をめざしています。

子どもの安心サポート

福祉との連携、SC・SSW等の多職種で構成するチーム学校、コミュニティ・スクールの取り組み、支援教育の充実、通級指導教室の開設など、学校×地域×行政で一人ひとりの子どもを大切に教育を進めています。

働きやすい環境

豊かな自然に囲まれ素直で元気な子どもたち、学校と協働する地域・保護者、あたたかい教職員集団、広々とした充実した学校施設。小さな町ならではの充実した教育環境のもと、熱い「夢」を持つ子どもたちを育成しています。

体力向上サポート

大学と連携し、授業支援・体力向上プログラムやイベントを実施し、元気でたくましい子どもの育成に努めています。



豊能町
toyono

「豊かな自然」と「豊かな人材」を
活かし「豊かな子ども」を育てる



【めざす子ども像】 豊能町に誇りをもち、自信をもって社会を生き抜く子ども

地域とともにある義務教育学校の設立

令和8年4月、東西それぞれに義務教育学校(2校)を設立し、新しい学びの段階「4・3・2制」を導入していきます。先行して、令和4年4月、東地区に施設分離型の小中一貫教育校「東能勢小中学校」を開校し、前期学部(1～4年)が小学校校舎、中・後期学部(5～9年)が中学校校舎で学校生活を送っています。



保幼小中一貫教育の推進

0歳から15歳までの15年間の「学び」と「育ち」をつなぐ一貫した教育を推進し、「確かな学び」と「豊かな人材」の育成、「グローバル人材」の育成をめざします。

*「グローバル人材」とは、グローバル(世界)とローカル(地域)を合わせた言葉で、どちらの視点も持てる豊かな人材のこと。



「とよの未来科」の実施

地域資源を最大限活用した、豊能町だからこそ学べる「体験的・探究的な学習」を就学前から行います。「とよの」の宝物について学び、グローバルな視点で「豊能町の未来」のために自分たちでできることを考える学習を行っています。



「使える英語」の充実

就学前から、段階的に英語に慣れ親しませる体験的な活動を充実させ、「使える英語」をめざします。

